

平成30年第5回八雲町議会臨時会会議録

平成30年7月6日

○議事日程

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
日程第 3 議案第 1号 財産の無償貸付についての議決の一部変更について
日程第 4 議案第 2号 財産の取得について
日程第 5 議案第 3号 平成30年度八雲町一般会計補正予算（第4号）

○出席議員（14名）

1番 岡 島 敬 君	2番 関 口 正 博 君
3番 佐 藤 智 子 君	4番 横 田 喜世志 君
5番 斎 藤 實 君	6番 大久保 建 一 君
7番 赤 井 睦 美 君	9番 三 澤 公 雄 君
10番 田 中 裕 君	11番 牧 野 仁 君
12番 安 藤 辰 行 君	13番 宮 本 雅 晴 君
14番 千 葉 隆 君	議 長 16番 能登谷 正 人 君

○欠席議員（1名）

副議長 15番 黒 島 竹 満 君

○欠 員（1名）

○出席説明員

町長	岩村克詔君	副町長	吉田邦夫君
副町長	萬谷俊美君	総務課長 併選挙管理委員会事務局長	三澤聡君
企画振興課長 兼行財政改革推進室長 兼情報政策室長	竹内友身君	新幹線推進室長	阿部雄一君
新幹線推進参事	藤澤久雄君	財務課長 兼収納対策室長	鈴木敏秋君
会計管理者 兼会計課長	荻本和男君	住民生活課長	川口拓也君
保健福祉課長	紺谷英友君	農林課長 併農業委員会事務局長	加藤貴久君
農林課参事	森太郎君	商工観光労政課長	藤牧直人君
建設課長	馬着修一君	環境水道課長	川崎芳則君
公園緑地推進室長	戸田淳君	教育長	田中了治君
落部支所長	石坂浩太郎君	体育課長	三坂亮司君
学校教育課長	山田耕三君	監査委員	千田健悦君
学校給食センター所長	成田耕治君	総合病院施設課長	佐々木裕一君
総合病院事務長	福原光一君	総合病院医事課長	沢野治君
総合病院庶務課長	竹内伸大君	消防長	桜井功一君
総合病院経営企画課長	伊丸岡徹君	八雲消防署管理課長	高橋朗君
地域医療連携室長	今村幸一君		
八雲消防署長			
八雲消防署消防課長			

【熊石総合支所・熊石教育事務所・熊石消防署・熊石国保病院】

地域振興課長 兼熊石教育事務所長	野口義人君	産業課長 海洋深層水推進室長	田村春夫君
熊石消防署長	荒谷佳弘君	熊石国保病院事務長	桂川芳信君

○出席事務局職員

事務局長	井口貴光君	併議会事務局次長	岡島広幸君
併監査委員事務局長		監査委員事務局次長	
庶務係長	吉田正樹君		
併監査委員事務局監査係			

[開会 午前10時00分]

◎ 開会・開議宣告

○議長（能登谷正人君） ただいまの出席議員は14名です。

よって、定足数に達しておりますので、本日の会議は成立いたしました。

これより平成30年7月6日招集、八雲町議会第5回臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

日程に入る前に議長より諸般の報告をいたします。

監査委員から5月分の例月現金出納検査の報告書の提出がございました。報告書の提出通知は、お手元に配布の通りであります。詳しいことにつきましては、事務局に保管してあります関係書類を必要に応じ、ご覧いただきたいと存じます。

次に議長の日程行動関係であります。6月7日江差町において、国道277号早期完成促進期成会総会が開催され、町長と共に出席してまいりました。

また、6月12日は札幌市において、北海道町村議会議長会定期総会及び議長・局長研修会が開催され、局長とともに出席してまいりました。

また、6月26日は渡島総合開発期成会による札幌要望が行われ、町長と共に参加してまいりました。

以上、概略を報告いたしました。詳しいことにつきましては事務局に保管してあります関係書類をご覧いただきたいと存じます。

次に、議会関係であります。7月3日札幌市において、北海道町村議会議長会主催の議員研修会が開催され、議員5名により参加してまいりました。

本日の議事日程は、お手元に配布のとおりであります。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（能登谷正人君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員に赤井睦美さんと千葉隆君を指名いたします。

◎ 日程第2 会期の決定

○議長（能登谷正人君） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期を本日1日とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） ご異議がありませんので、本臨時会の会期は本日1日と決定いたしました。

◎ 諸般の報告

○議長（能登谷正人君） これより局長に諸般の報告をさせます。

○議会事務局長（井口貴光君） ご報告いたします。

本臨時会に対し、町長から提出された案件は、既に配布しております議案3件であります。

これら議案等説明のため、町長、教育委員会教育長、監査委員及びあらかじめ委任または囑託を受けた説明員の出席を求めています。

また、概要説明に追加資料の提出がありましたので、机上配布しております。

本日の会議に、黒島竹満議員欠席する旨の届出がございます。
以上でございます。

◎ 日程第3 議案第1号

○議長（能登谷正人君） 日程第3 議案第1号財産の無償貸付についての議決の一部変更についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

○農林課長（加藤貴久君） 議長、農林課長。

○議長（能登谷正人君） 農林課長。

○農林課長（加藤貴久君） おはようございます。議案第1号財産の無償貸付についての議決の一部変更について、ご説明申し上げます。議案書は1ページをお開き願います。

本件については、平成29年第4回定例会議案第7号で議決をいただきました、北海道新幹線トンネル掘削工事で発生する土砂を堆積するため、独立行政法人鉄道建設運輸施設支援機構に無償で貸付する町営育成牧場内の土地について、一部変更の議決を求めようとするものであります。

変更の理由につきましては、対象地の一部に草地整備事業が完了してから必要な期間が経過していない土地が含まれていることが北海道との協議の中で判明したため、工区を変更して対応しようとするものであります。

新たに対象とする土地につきましては、いずれも育成牧場内の採草放牧地と沢地でありまして、受け入れる土砂による客土及び農地改良により、顕著な利用の改善が図られるものと考えております。

変更後の土地の所在につきましては、八雲町熱田368番地1、337番地3、385番地、285番地1、296番地、299番地、305番地2、314番地、320番地、321番地1、321番地2、321番地3、323番地、388番地及び地区外となっております。合計15筆の内面積としておりまして、貸付面積の変更後は49万1,701平米としております。

以上、提案説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（能登谷正人君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） 討論なしと認めます。

これより直ちに本案を採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

◎ 日程第4 議案第2号

○議長（能登谷正人君） 日程第4 議案第2号財産の取得についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

○学校給食センター所長（山田耕三君） 議長、学校給食センター所長。

○議長（能登谷正人君） 学校給食センター所長。

○学校給食センター所長（山田耕三君） 議案第2号財産の取得についてご説明いたします。議案書2ページであります。

本件は、学校給食配送車1台を購入することについて、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決を求めようとするものであります。

先の第2回定例会で補正予算の議決をいただいた件で、現行の給食配送車が14年経過し老朽化が著しいため、急遽購入しようとするものであります。

財産の種類及び数量は、学校給食配送車1台であります。取得の方法は契約の定めるところによります。取得の金額は843万4,320円であります。契約の相手方は、函館市昭和3丁目32番26号、函館三菱ふそう自動車販売株式会社 代表取締役 佐々木眞であります。

なお、去る6月29日に4社指名による入札を執行しております。納期は平成31年1月15日であります。

以上、議案第2号の説明といたします。よろしく願いいたします。

○議長（能登谷正人君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） 討論なしと認めます。

これより直ちに本案を採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

◎ 日程第5 議案第3号

○議長（能登谷正人君） 日程第5 議案第3号平成30年度八雲町一般会計補正予算（第4号）を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

○財務課長（鈴木敏秋君） 議長、財務課長。

○議長（能登谷正人君） 財務課長。

○財務課長（鈴木敏秋君） 議案第3号平成30年度八雲町一般会計補正予算（第4号）についてご説明いたします。議案書3ページであります。

この度の補正は、歳入歳出予算及び地方債の補正であります。歳入歳出予算の補正は、歳入歳出それぞれに7,473万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を142億7,091万3,000円にしようとするものであり、熊石地域水産試験研究推進事業の追加の補正であります。

それでは、事項別明細書により歳出からご説明いたします。議案書の8ページ下段でありま

す。

6 款農林水産業費、3 項水産業費、4 目漁業構造改善事業費において 7,473 万 4,000 円の追加であります。昨今の水産業は海洋環境の変動に大きく影響を受けているものでありますが、日本海側、特に熊石地域においてはスケトウダラやイカの不漁、さらにウニ、アワビ、ナマコ等の浅海資源の減少により相当厳しい状況にあります。

町としては、この状況を転換させる方策を模索するため、今年度から北海道大学水産学部との共同により、新たな海洋深層水の利活用、海域特性に合った水産動植物の研究、技術開発の実施について合意したところであります。

具体的には藻類栽培、ウニ・魚類の養殖試験を実施するもので、経費面で八雲町は施設整備・運営分を担う事となったことから、その必要額を補正しようとするものであります。

施設整備については平屋建て 232 平米に大小 19 の水槽など、試験装置を配置するもので、建設工事請負費、工事監理業務委託料、備品購入費など、7,326 万 2,000 円。運営費として施設の完成予定を 12 月末とし、1 月から 3 月までの臨時公務補賃金、光熱水費など 146 万 8,000 円を各節に計上するものであります。

以上、補正する歳出の合計は 7,473 万 4,000 円の追加であります。

続いて歳入であります。議案書同ページ上段であります。

19 款 1 項 1 目繰越金 13 万 4,000 円の追加は前年度繰越金で、歳出に対応した計上でありませ

ず。

21 款 1 項町債、3 目農林水産業債 7,460 万円の追加は、熊石地域水産試験研究推進事業に過疎債を対応させようとするものであります。

以上、補正する歳入の合計は、歳出と同額の 7,473 万 4,000 円の追加であります。

次に、地方債の補正であります。議案書 5 ページとなります。第 2 表地方債の補正は、追加で熊石地域水産試験研究推進事業の限度額を 7,460 万円とするものであります。

以上で議案第 3 号平成 30 年度八雲町一般会計補正予算（第 4 号）の説明といたします。よろしくお願

いいたします。

○議長（能登谷正人君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

○3 番（佐藤智子君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 佐藤さん。

○3 番（佐藤智子君） これは総務経済常任委員会に出されてきた案件であります。今 1 月から 3 月まで臨時公務補を置くという事なんですけれども、4 月以降は常駐者を置くという考

えているのか。また、その常駐者は町職員であるのか、それとも引き続き臨時で補うのか、あるいは北大水産側でということも考えられるのかということをお聞きいたします。

○産業課長（田村春夫君） 議長、産業課長。

○議長（能登谷正人君） 産業課長。

○産業課長（田村春夫君） 先ほど財務課長からも説明しましたが、今年度の試験研究につきましては、1 月から予定しております。それに合わせて、今のところ臨時公務補 1 名、それと協力隊員 1 名を予定しております。その他に今現在、海洋深層水総合交流施設で行っている牡蠣・ホタテの長期畜養試験もそちらの施設で行う計画でございます。

そういったことから、今いる嘱託職員 1 名含めて 3 名体制でそちらの施設を運営しようと考えております。4 月以降につきましても、そういう体制で引き続き行っていきたいというふう

に考えております。また、すぐ横に海洋深層水総合交流施設の方に水産の主幹、また海洋深層水担当者の正職員2名もすぐそばにいるということですので、何かあった場合はお互いに協力しながら進めていくということで計画しております。よろしくをお願いします。

○3番（佐藤智子君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 佐藤さん。

○3番（佐藤智子君） で、今後ですね、北大水産学部の方からも教授や学生が来るという事もあると思いますけれども、それらの経費配分というのはどのように考えているんですか。

○産業課長（田村春夫君） 議長、産業課長。

○議長（能登谷正人君） 産業課長。

○産業課長（田村春夫君） ただ今、この1月から実際に北大の先生や学生がどのような形で入ってくるかというのはまだ決まっておりませんが、1月以降に入ってくるようになるかと思っております。で、先生方の熊石に来る部分については、大学の方の負担ということになるかと思っておりますが、学生が来る時の部分について、常任委員会等で報告しておりましたが、学生が熊石に来て、日帰りである場合については自分たちの負担でという事になるかと思っております。例えば研究テーマによっては宿泊を伴う可能性も出てくるのかなという事が想定されております。そういったことからですね、学生の負担軽減という部分で言いますと、町の方では使わなくなった町の古い施設、たまたま熊石漁港内に雲石研修センターという施設がありましたので、そちらの施設を改修して出来ないかという事で説明をしてきております。

で、この間ですね、雲石研修センターの改修について担当の方で検討をしてきたんですけれども、研修センターの改修にあたりまして、例えば学生が泊まるということになればですね、有料というふうになった場合については旅館業法、または無償であっても学生が泊まるという事になれば寄宿舎の扱いになるのではないかというふうな、ちょっとそういう判断をされておりました。そのためには、例えばその施設内に通常の改修の他に防火壁を作ったりだとか、そういうことも必要になってくると。そうなった場合に、概算ですけれども改修費に2,000万以上の経費がかかるかというふうに見込まれております。そういうことからですね、今年度の改修についてはちょっと見合わせたいと。

また、来年度以降につきましては、別な支援の方法も含めて町としては検討していきたいということで考えております。以上です。

○3番（佐藤智子君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 佐藤さん。

○3番（佐藤智子君） 電気代ですとか、水道代ですとか、そういう様々な諸経費がかかると思いますけれども、それらは全部町でみるという考えですか。

○産業課長（田村春夫君） 議長、産業課長。

○議長（能登谷正人君） 産業課長。

○産業課長（田村春夫君） 今年度の費用については全額町の方で考えております。また、来年度以降の基本的な運営の部分についても、現在は町でというふうを考えております。

ただ、この共同試験事業の中で、大学の方でも先生方が個々にテーマをもって試験事業をやるという中では、ある一定の予算はとってくるのかなというふうには考えておりますが、基本的な電気代、水道代、そういう部分については町の方で負担というふうを考えております。お願いします。

○議長（能登谷正人君） 他にありませんか。

- 4番（横田喜世志君） 議長。
- 議長（能登谷正人君） 横田君。
- 4番（横田喜世志君） この研究施設ですけれども、6,000万ほどかけて何年使うつもりで考えておりますか。
- 産業課長（田村春夫君） 議長、産業課長。
- 議長（能登谷正人君） 産業課長。
- 産業課長（田村春夫君） こちらの試験研究につきましては、常任委員会等でも報告しておりますが、中長期的にこの共同研究試験をやりたいというふうに考えております。そういったことからですね、10年、20年スパンでの研究を現在考えております。以上です。
- 議長（能登谷正人君） 他にありませんか。
（「なし」という声あり）
- 議長（能登谷正人君） 質疑終結と認めます。
これより討論を行います。討論はございませんか。
（「なし」という声あり）
- 議長（能登谷正人君） 討論なしと認めます。
これより直ちに本案を採決いたします。
お諮りいたします。本案は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。
（「異議なし」という声あり）
- 議長（能登谷正人君） ご異議なしと認めます。
よって、本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

◎ 閉会宣告

- 議長（能登谷正人君） これをもちまして、本臨時会に付議されました案件はすべて議了いたしました。
よって、平成30年第5回八雲町議会臨時会を閉会いたします。

[閉会 午前10時21分]